

ときわの島 いぜな



# 議会だより

No.  
185

発行 2025年3月

第4回定例会 議決結果一覧  
議員研修会  
議会の動き  
一般質問ダイジェスト  
キラリ★いぜなっ子／編集後記

②  
③  
④  
⑤～⑦  
⑧



【花言葉】 変化・美しい追想・信じる心



県知事・県議会議長への

伊平屋・伊是名架橋

建設早期実現要請活動

## 令和6年 第4回伊是名村議会定例会 結果一覧

令和6年第4回伊是名村議会定例会は、12月9日(月)～10日(火)までの2日間で開催された。本定例会に提案された議案は10件です。一般質問には3名の議員が登壇し村政について質問した。結果は次の通りです。

議案番号	件名	議案等の概要	議決の結果
議案第58号	令和6年度伊是名村一般会計補正予算(第5号)	歳入歳出それぞれ115,156千円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ3,973,553千円とする。	原案可決
議案第59号	令和6年度伊是名村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	歳入歳出それぞれ10,695千円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ266,667千円とする。	原案可決
議案第60号	令和6年度伊是名村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出それぞれ1,668千円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ14,921千円とする。	原案可決
議案第61号	令和6年度伊是名村港湾整備事業特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出それぞれ3,864千円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ15,335千円とする。	原案可決
議案第62号	令和6年度伊是名村船舶運航事業特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出それぞれ43,436千円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ501,391千円とする。	原案可決
議案第63号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	刑法等の一部を改正する法律(令和4年法律第67号)及び刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整理等に関する法律(令和4年法律第68号)の公布により、懲役及び禁錮を廃止し、新たに拘禁刑を創設するなどの改正が行われ、これらの規程が令和7年6月1日から施行されることに伴い、村の条例の規定中の懲役及び禁錮を拘禁刑に改める等所要の改正を行う必要があるため。	原案可決
議案第64号	伊是名村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	沖縄県人事委員会の給与勧告により、本村の職員の給与を改定する必要があるため。	原案可決
議案第65号	伊是名村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	一般職に属する常勤の職員との権衡を考慮し、会計年度任用職員の給与を改定する必要があるため。	原案可決
議案第66号	団体営土地改良事業計画の変更について	土地改良法(昭和24年法律第195号)第96条の3第1項の規程により、畑作等促進整備事業(イシジウムイ原地区)の計画変更内容について議会の議決を得る必要があるため。	原案可決
議案第67号	工事請負契約の変更について(伊是名村役場旧庁舎等解体撤去工事(R6))	伊是名村役場旧庁舎等解体撤去工事の渡航費等に要する費用を追加することに伴う請負契約の変更については、伊是名村議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例(昭和47年条例第31号)第2条の規程により議会の議決を必要とするため。	原案可決
発議第3号	伊是名村議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例	「刑法等の一部を改正する法律」及び「刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整理等に関する法律」の施行に伴い懲役及び禁錮が廃止され、拘禁刑が創設されたことにより、条例中の「懲役」・「禁錮」を「拘禁刑」に改める必要があるため。	原案可決

発議第4号	伊平屋・伊是名架橋の早期事業化を求める要請決議	年々人口が減少し高齢化が進む両村に、定住環境の整備が求められている。架橋建設を推進することにより生活圏の拡大が図られ、産業の振興、教育、文化、医療、福祉等の充実に大きく寄与するものと確信していることから、伊平屋・伊是名架橋の早期事業化を強く要請する。	原案可決
発議第5号	伊平屋空港の整備に関する要請決議	伊平屋空港の整備は、両村の観光業の発展、定住条件の確保と人口増加に大きく寄与するものと確信していることから、伊平屋空港の早期事業化を強く要望する。	原案可決

## 議員研修会を開催

### 議会運営・議員活動に生かす

令和7年2月4日(火)役場大会議室において講師(石垣安秀氏)を招いて議員研修会を開催しました。議会における研修は、議会や議員に求められる機能を正しく発揮し、その役割を果たすため、議員一人ひとりの資質の向上と議会全体の水準の向上を目的に行われます。

今回の研修では、「一般質問について」と「議会運営について」を主テーマに行いました。研修後の質疑応答では、議員それぞれがこれまでの議会活動を通して疑問に感じていた事を、講師より詳しく説明を受け理解を深めていました。今回の研修で学んだことを定着させ、今後の議員活動に生かしていくことが肝要である。



講師 石垣安秀氏



研修会の様子

#### 《研修を終えて》

一般質問は議員の最もはなやかで意義のある発言の場といわれている。村民が関心、期待を寄せる大事な議員活動で、年4回の定例会ごとに行われ任期4年間で16回の質問権が与えられる。できる限り質問に努めることを講師が強調していた。極力、一般質問に心がけ、質問の構想を練り論理構成して原稿を作成し意義のある質問にすることは議員の使命であり邁進していきたい。また、議会運営については、各議会での申し合わせ事項が非常に大切であるとの情報も得られ、今後の議会運営に大いに参考にしていきたいと感じた。

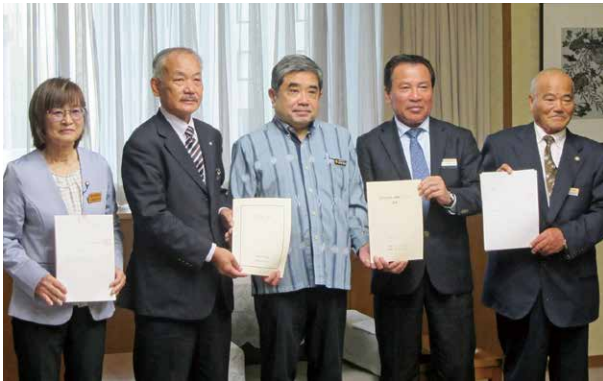
## 議会の動き

### 令和6年12月

- 4日(水) ・ 議会運営委員会
- 5日(木) ・ 令和6年度第4回北部地区商工会連絡協議会情報交換会(議長)
- 7日(土) ・ 第30回伊是名村生涯学習発表会  
伊是名村産業支援センター



- 9日(月) ・ 第4回定例会(～12月10日(火))
- 16日(月) ・ 伊平屋・伊是名架橋建設早期実現(要請活動)沖縄県議会棟 沖縄県庁



- 23日(月) ・ 名桜大学開学30周年・公立大学法人化15周年記念事業「本館」落成式・懇親会 名桜大学本館(議長)

### 令和7年1月

- 1日(水) ・ 二十歳の祝い  
伊是名村産業支援センター
- 7日(火) ・ 令和7年消防団出初め式  
伊是名村役場正面玄関前



- 10日(金) ・ 令和7年伊平屋村新春の集い  
伊平屋村
- 14日(火) ・ ERCM(有機物減容セラミック製造装置)運用実証の視察見学  
運天港荷捌き場
- 17日(金) ・ 北部市町村議会議長会臨時総会  
北部会館(議長)  
・ 令和7年「国・県出先機関の長及び関係団体等と北部市町村との新年会」  
北部会館(議長)



- 18日(土) ・ 伊是名村郷友会新春の集い  
マリエールオークパイン那覇
- 24日(金) ・ 「令和7年漁期 モズク操業祈願」  
伊是名 モズク荷捌き場  
・ 第45回伊是名村文化財防火訓練  
国指定重要文化財 銘苅家住宅  
・ 新春伊是名村民の集い  
伊是名村産業支援センター
- 30日(木) ・ 令和6年度奄美・やんばる広域  
圏交流推進協議会総会交流会  
OKINAWAフルーツランド(議長)

### 令和7年2月

- 4日(火) ・ 議会研修会 伊是名村役場大会議室
- 5日(水) ・ 広報委員会
- 12日(水) ・ 令和7年北部広域市町村圏事務組合  
議会第65回定例会 北部会館(議長)
- 19日(水) ・ 沖縄県町村議会議長会 第54回定期  
総会及び懇親会 自治会館  
(議長・局長)
- 20日(木) ・ 沖縄県離島振興市町村議会議長会  
本会第16回定期総会及び研修会  
自治会館
- 21日(金) ・ 沖縄県町村議会議員・事務局職員研  
修会 読谷村文化センター
- 25日(火) ・ 第1回臨時会



うえはら ちようりよう  
上原 長良 議員

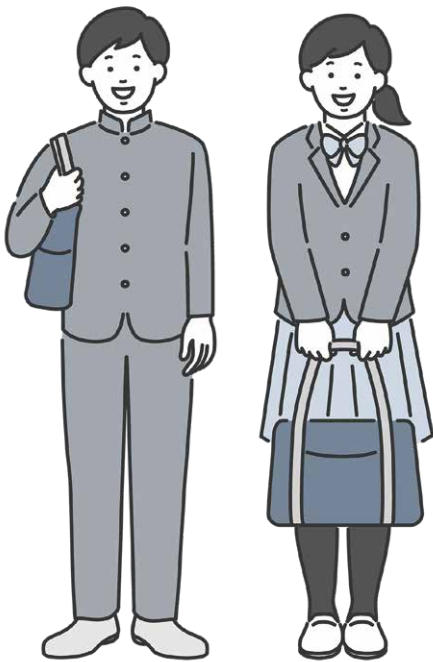
# Q 高校入学祝い金の給付について

**Q** 上原長良議員

本村には高校が無いので、必然的に島外の高校に進学します。高校入学時の入学費用、準備費用は公立高校で約25万円、私立高校で約50万円以上になるといわれています。さらに、最近ではICT教育の導入が進み、学校指定のタブレットを1人1台購入しなければならない高校も増えているので、その場合はさらに費用負担が高くなります。保護者の経済的負担を軽減するとともに、15歳で親元を離れた島の子供たちが、不安なく楽しい高校生活を送るためにも、ふるさと納税等を活用

**A** 奥間 守村長

用した高校入学祝い金の給付が可能か伺います。  
高校に入学する際には、制服、ジャージ、教科書その他、学校指定のタブレット等を購入しなければならず、更に、本島で生活するには、寮に入るかアパートを借りて学校に通うことになることから、入学時に係る費用が、保護者にとって経済的に大きな負担となっていると承知しています。



現在、本村において「伊是名村定住促進祝い金条例」が制定されており、ふるさと納税の一部を充当して、結婚祝い金、出産祝い金を給付していることから、同条例及び施行規則を一部改正して高校入学祝い金を追加して、次年度以降から給付する方向で検討して参りたいと考えております。

**Q** 上原長良議員

来年春の高校に進学する生徒は今年20名と聞いています。久しぶりに20名を超える子供たちのためにも、ぜひ実現していただきたいと思いますが、予定としている入学祝い金の金額と給付時期をお聞かせ下さい。

**A** 諸見美奈子総務課長

いま近隣の3市町村に確認しています。手元に資料はありませんが、小学校、中学校、高校等、殆どの市町村が給付している状況があります。その状況も踏まえて、伊是名村に合った金額を調整して、給付時期を検討して条例を制定したいと考えております。

**Q** 上原長良議員

私の要望としましては、一人当たり10万円程度の給付が妥当ではないかと思っております。金額的に可能か、再度お

伺います。

**A** 諸見美奈子総務課長

県内の他市町村の祝い金を確認したところ、渡嘉敷村では、小学校入学3万円、中学校入学3万円、高校入学3万円、伊平屋村では、小学校入学5万円、中学校入学7万円、高校入学10万円となっております。また、沖繩本島の嘉手納町では、小学校入学3万円、中学校入学4万円、高校入学5万円の給付を実施しているという事です。本村は、島から皆さん高校進学となるのと、ふるさと納税の一部を財源として予定しておりますので、この金額に見合った金額、10万円が妥当なのかも調整して給付の金額を決定させてもらいたいと思います。

**Q** 上原長良議員

2024年で県内の人口増加率が最も高かったのが宜野座村で、子育て施策に力を入れてUターンが増えたのが要因の一つだそうです。

子供を育てやすい環境づくりが人口増加に繋がる可能性があると思いますので、ぜひ実現することを願います。



たか 高良 真伊 議員

- Q1 郷友会員へのフェリー往復運賃の適用
- Q2 モータースポーツ事業費を来島者への運賃補助
- Q3 フェリーの車両オンライン予約
- Q4 北部医師会病院へ無料送迎バスの運行

Q1 高良真伊議員

伊平屋村では2015年より、ふるさと割引運賃カードを発行し、対象者は、郷友会の会員、伊平屋村にふるさと納税を5万円以上行った者、伊平屋村長が定める者であり、現在も続いております。本村も伊平屋村のように、郷友会員へのフェリー往復割引運賃の適用ができないか伺います。

A 奥間 守村長

村独自の割引制度の導入を検討した際に、「郷友会員」の範囲が不明確である等の課題もあり、進展していない状況であります。当該事業につきましては、補助金は一切充当されず村単独事業となっております。本村において導入する場合には、財政負担や郷友会との調整等、議論を重ねていく必要があります。今後、試験的な導入も視野に入れ、想定される課題を検証しながら、導入について検討していきたいと考えております。

Q2 高良真伊議員

栗国村では、島への来島

者の利便性の確保及び島民との交流増加を図るため、那覇泊港発フェリーの往復運賃を一部支援してまいります。また、座間味村でも冬季1月から3月の間、同様の支援を行っております。本村はモータースポーツ事業に年間724万7千円の予算が計上されており、来場者目標を1263名以上と設定されております。その予算を来島者の運賃補助に充てれば、モータースポーツ以上の来島があるのではと考えますが、村長の見解を伺います。

A 奥間 守村長

栗国村、座間味村、両村におきましては、割引額は異なるものの、全来島者を対象とする運賃割引制度が導入されており、観光客はもとより多くの来島者の皆さんがその恩恵を受けているものと推察致します。両村の事業は、いずれも観光客増加を図ることを目的としており、当該事業を活用することで、観光産業のみならず観光関連産業へも普及し、村経済の発展を促しているものと推察致します。試験的な導入も視野に入れて調

査、議論していきたいと考えしております。モータースポーツ支援事業の次年度開催については、参加実績等を考慮し、運営側と協議を行い、事業継続についての判断を行って参りたいと考えております。

Q3 高良真伊議員

伊平屋村では島外から訪れる一般の方を対象にオンライン予約ができるようになっております。車両予約も準備中とのことです。伊江村では車両予約がインターネットで可能です。本村もそのように整備すべきと考えますが、村長の見解を伺います。

A 奥間 守村長

今年度は、システム構築に向けた基礎調査が行われ、令和7年度に実証実験を行い、令和8年度から本格的なシステム運用が開始される予定であります。

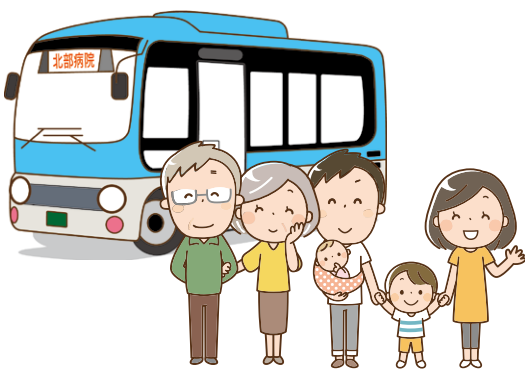
Q4 高良真伊議員

北部医師会病院では、本郡港行送迎バスが週3回、月、水、金曜日に運航され、本郡本島線で週2回、火、木曜日に運行されています。この路線は今帰仁村役場前、ワルミ入口

も運行します。また、事前予約制で週1回、木曜日に古宇利島に運行されます。伊平屋村と協力して、両村民の為に、運天港線の運行を北部医師会病院に要望してはと考えますが、村長の見解を伺います。

A 奥間 守村長

北部医師会病院にどれくらいの方が通院し、そして運行バスの利用を希望しているのか把握する必要がありますと考えております。基本的に日帰りの方が利用を希望するものと思われませんが、日帰りができる時間帯で診察ができるのか、病院側の状況も考慮して判断する必要があります。



# Q 「いぜん88トライアスロン大会支援 資金造成チャリティーゴルフ大会」の 検討について



まえかわ ひでかず  
前川 秀和 議員

## Q

前川秀和議員

去る7月8日の「青少年育成支援チャリティーゴルフ大会」が開催され、大盛況に終わったことは記憶に新しいか

と思います。村の一大イベントである「いぜん88トライアスロン大会」も同様に財源確保策としてチャリティーゴルフ大会を検討し、費用削減につなげてはどうか。

## A

奥間 守村長

「いぜん88トライアスロン大会」は昭和63年から始まり、今年で37年目となります。村民の協力や企業の支援に深く感謝申し上げます。本大会は、選手の参加料、企業協賛金、そして補助金及び村単費

## Q

前川秀和議員

を財源に運営しており、限られた予算の中において、関係者が知恵を出し合い工夫を繰り返しながら、これまで運営して参りました。しかし、近年は参加者が減少し、大会を円滑に運営していく上で、安定した財源の確保が難しい状況です。チャリティーゴルフ大会は、村財政の費用削減につな

ながるものと考えますが、開催に当たっては協賛企業と郷友会の協力が前提となりますので、実行委員会と協議して方向性を示したいと考えています。

## Q

前川秀和議員

「青少年育成支援チャリティーゴルフ大会」において



は、郷友会が主催となっております。どのような経緯で取り付けたのか伺います。

## A

諸見直也企画政策課長

詳細は存じ上げておりませんが、郷友会の皆様が青少年の育成に役立てたいというところで始まったと伺っています。

## Q

前川秀和議員

郷友会に協力をお願いし、青少年育成支援とトライアスロンのチャリティーゴルフ大会を一体化してはいかがでしょうか。伊平屋村ではムーンライトマラソンと育英会の支援チャリティーを年1回同時開催しています。伊是名村でも同様に年1回同時開催ができる方法を検討してはどうか。

## A

奥間 守村長

これまでは青少年育成資金として100万円をずつと寄附をいただいています。が、トライアスロン大会と両方のできるのかは、郷友会と話をして行きたいと考えています。

## Q

前川秀和議員

青少年育成資金とト

ライアスロン大会のチャリティーを同時開催することで、参加者や各種団体の事業者関係が増えると思えますので、きちんとアポを取りながら進めていきたいと考えています。先ほど村長の答弁であったように、毎年、協賛金、交付金、参加料、単費等で1,000万円余りの事業費が投入されて開催されています。これを一本化することで、さらなる負担軽減が図られると考えています。

## A

末吉長吉商工観光課長

これまでトライアスロン大会は、独自で文書依頼を続けてきた経緯があります。そこで新たに郷友会を通して参加者を募るとなると、企業の皆さんに二重のご負担を強いることになる可能性がございますので、実行委員会と十分協議しながら進めていきたいと思えます。

## Q

前川秀和議員

ぜひチャリティーを行って、村の財政負担の軽減に努めてもらいたいと思います。

キラリ★  
いぜなっ子  
ザ・学生II  
vol.37

キラリ★いぜなっ子 ザ・学生は、本村出身のがんばる学生を紹介するコーナーです。今回のキラリ★いぜなっ子は沖縄県立小禄高等学校に通うお二人です。

小禄高等学校(3年生)  
まえかわ  
前川 桃菜さん  
(仲田)



前川桃菜さんは小禄高校の3年生です。進学先は姉が通っていたことや、スポーツが盛んな学校という理由がポイントとなり選択しました。

入学後は寮生活がスタート。洗濯や掃除は、島にいるときも進んで行っていたので、特に苦労はなかったそうです。食事は、寮からの提供があり、栄養面や手間の面で非常に助かったと話しています。

学校生活では、最初は少し躊躇しましたが、自ら積極的に話しかけたりすることで、早く馴染むことができました。

部活動では「選手を支える役割をやりたい」と希望し、男子バスケットボール部のマネージャーを3年間務めました。上級生になると、マネージャーのリーダー的存在になり、チームを支えます。

最後の大会であるウィンターカップ予選では、チームはベスト8進出を果たし、充実した時間を過ごしました。「部活を通じて、コミュニケーション能力が身についた」と満足げに話します。

将来は、英語を使う仕事を目指し、大学へ進学。海外留学も視野に「英語だけでなく、さまざまな言語を学びたい」と夢を膨らませています。

島の後輩たちへ「誰かがやってくれるだろうではなく、自分から行動することが大事」と温かいメッセージを送ってくれました。

小禄高等学校(3年生)  
はまざと  
濱里 琉星さん  
(仲田)



濱里流星さんは、小禄高校に通う3年生です。高校進学について、所属していたサッカー部の先輩に誘われたのがきっかけで、現在の高校を選択しました。

進学と同時に寮生活がスタート。「最初はホームシックになりました。でも、部活を通じて自然と友達が増えていき、すぐに慣れてきました」と振り返ります。サッカー部へ入るとキーパーとして活躍。インターハイでは初戦で強豪校と対戦し敗れたものの、その経験はかけがえのない財産となりました。

寮生活では、少しずつ

つ自立に向けて自身の生活スタイルを築いてきました。苦労した点は、部活で送迎が必要などときに、友達に頼むことがあり、その点は大変だったと感じていました。

学校生活は入学から1、2か月たつ頃には学校が楽しくなってきたそうです。思い出に残っているのは、2年生の時に修学旅行で東京に行ったこと。デイズニーや渋谷スカイ、浅草に行つて、とても楽しかったと話します。卒業後は、就職を目指し、採用試験に挑戦する準備をしています。

島の後輩たちには「部活に入ると友達が増えて早く学校生活に慣れるよ」と話します。

最後に「小さいころから地域の人たちに支えてもらいました。心からありがとうございます」と感謝を表していました。

## 編集後記

村民の皆様、サトウキビ収穫作業も終わりに近づいていますが、いかがお過ごしですか。去る1月18日(土)に伊是名村郷友会新春の集い、受賞者祝賀激励会がマリエールオークパイン那覇であり参加いたしました。久々に在学時の小学校校歌を歌ったり、郷友会の皆様とのムンガタイに大いに盛り上がり楽しいひと時を過ごしました。ただ、若者の参加者が少なかったことが気がかりになりました。議会では、教育、福祉、医療、産業の振興発展のため、日々執行部と議論を重ねています。その内容を「議会だより」を通して村民の皆様に分かりやすく伝えられるよう頑張っていますので、是非ご一読ください。 広報常任委員会副委員長 伊禮 正隆